

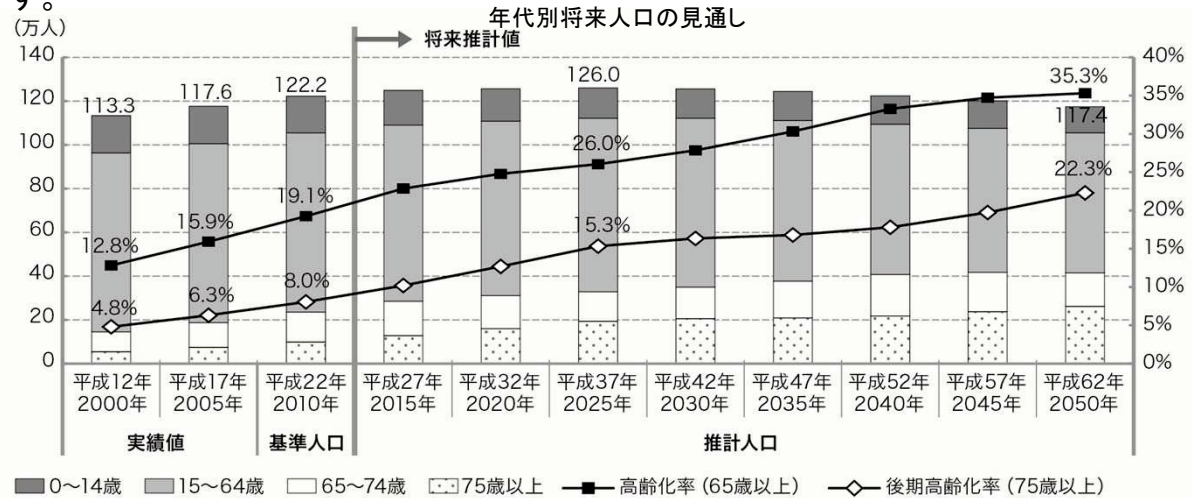
# 都市局 平成26年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

全国的には、既に総人口が減少局面に入り、高齢化も急速に進行するなど、社会経済情勢が大きく変化し、社会資本整備を推進するための財政状況が一段と厳しくなっています。

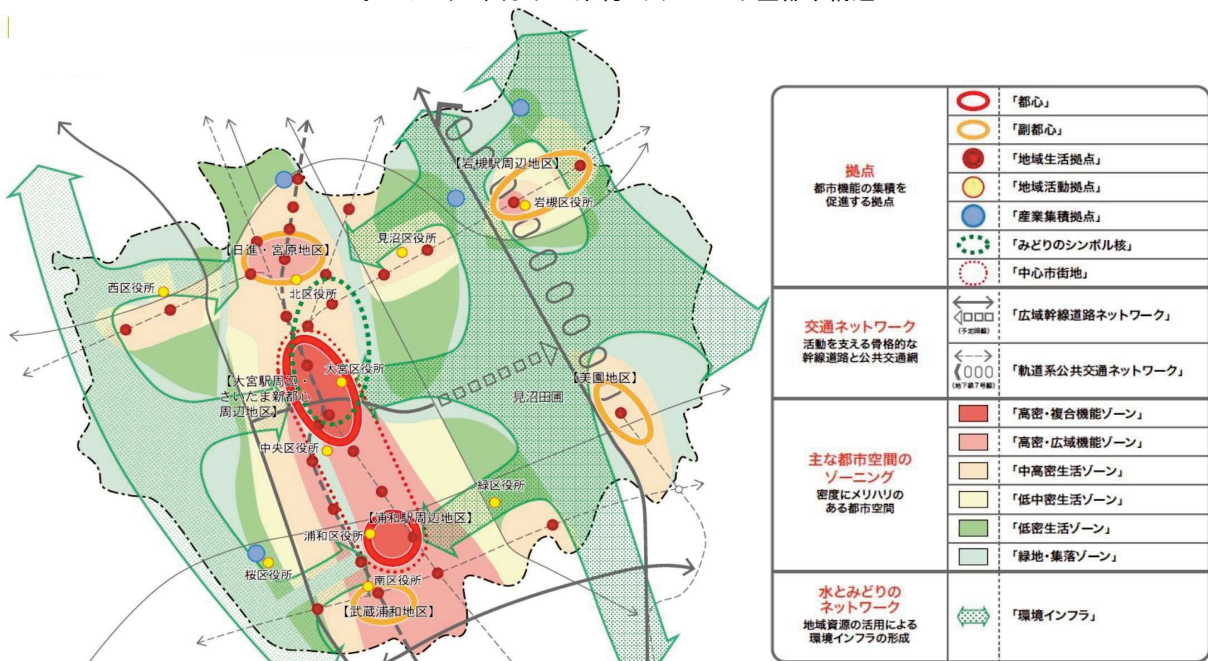
一方、本市では今後も人口規模は比較的維持する見込みですが、平成37年頃をピークに人口減少傾向となり、平成62年には高齢化の進展により高齢者数・高齢化率はともに平成22年に比べ約2倍と著しく増加する見込みです。

このことから、厳しい財政状況の中で今後の超高齢社会を支えていくためには、誰もが快適に暮らすことができる良好な都市機能や、大都市としての風格や賑わい等の魅力が備えられた都市づくり、更にそれを支えるための都市空間の防災機能の向上による安全で安心できる都市づくりに継続して取り組むことが求められています。



資料：都市計画マスタープラン(平成26年4月改定)

### 水とみどりに囲まれた集約・ネットワーク型都市構造

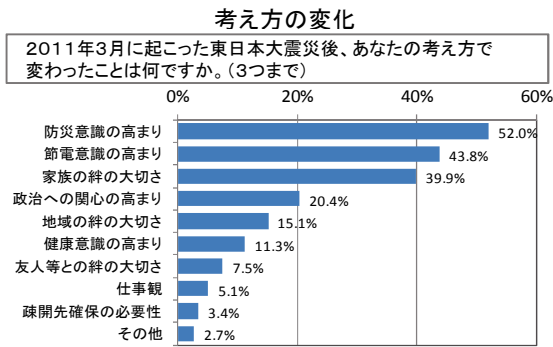


資料：都市計画マスタープラン(平成26年4月改定)

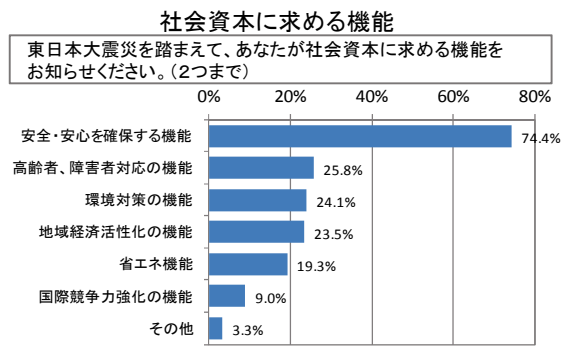
### (1) 安全・安心の確保

東日本大震災後の考え方の変化として、「防災意識の高まり」の割合が最も高くなっており、災害に対する備えへの意識が大きく変わってきています。

また、社会資本に求められる機能として「安全・安心を確保する機能」が最多であり、ソフト・ハード施策を組み合わせた「災害に強いまちづくり」を着実に進めていくことが求められています。



資料：平成23年度国土交通白書



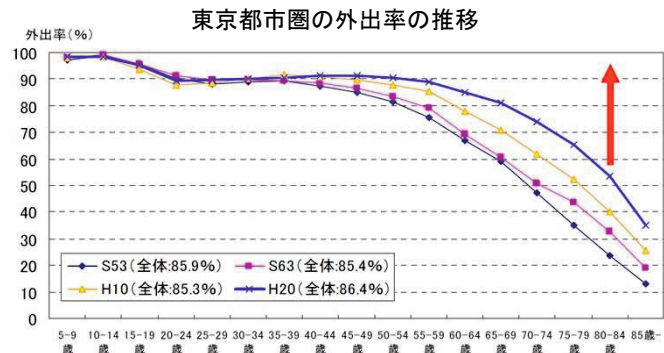
資料：平成23年度国土交通白書

本市では、市域全体で見ると道路や公園等都市基盤が不十分なまま市街化が進行した地区もあることから、大規模災害時の被害軽減や被害拡大を防ぐ防災・減災の取組みとして、土地区画整理事業や都市公園等の継続的な整備により、被災時の被害規模を最小限に抑え、被災したとしても速やかな復興が可能となる「災害に強いまちづくり」を進めていくため、社会資本整備を効率的・効果的に推進していく必要があります。

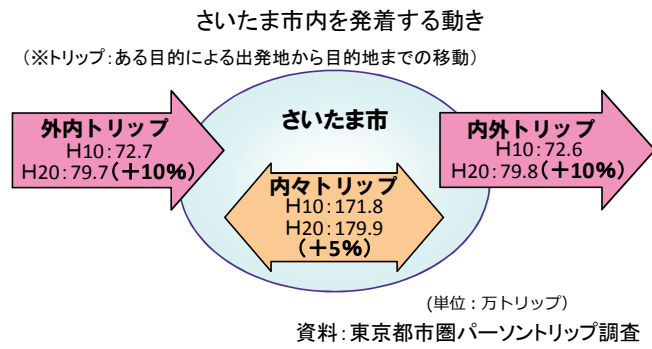
### (2) 快適な生活環境の形成

東京都市圏における経年的な推移からみた近年の外出率は、高齢者を中心として全体的に上昇してきており、本市においても市域内及び市域内外の移動が活発化してきています。

このため、市民の多様な生活活動を支えるために、公共交通の利用促進施策、施設のバリアフリー化等による、自動車等に過度に頼ることのない快適な移動環境の形成や、公園等の都市のオープンスペースの確保によるコミュニティ拠点の整備等、安心して快適な生活環境を実現する事業を推進していく必要があります。



資料：東京都市圏パーソントリップ調査



### (3) 大都市としての魅力の創出

「都心」は、鉄道駅周辺における様々な機能の集積による高いポテンシャルを活かし、基盤整備等の更なる取組みにより、十分な空間利用を推進していく必要があります。

「副都心」等では、歴史的・文化的資源等の地域資源を活用して、風格やにぎわいが感じられる魅力や価値を創造していく必要があります。

このため、市民、企業、まちづくりの専門家、行政等の多様な主体がそれぞれの役割で連携していくために、情報発信の場を設けること等により、新たな知恵・人的資源等を引出し、都市施設の整備・管理の推進や新たな都市空間の創造・形成を図り、地域の特徴を生かしたまちづくりを推進していく必要があります。

### (4) 水とみどりの保全・活用

本市の市街地は見沼田圃や荒川をはじめとした水とみどりに囲まれた都市構造になっており、河川やそれに沿って広がる緑地等の環境インフラは貴重な資産となっています。

これまで市街地の縁辺部の貴重な農地や緑地等については、緑地保全に関する取組みにより守られてきていますが、近年相続等により、徐々に減ってきています。

民有地である樹林地や農地は、永続的な担保がされていないため、見沼田圃やその周辺においては、地域資源を活用しながら、緑の軸として保全・活用・創造をしていくとともに、大規模公園等は緑の核として、維持・整備を推進すること等により、都市環境インフラのネットワーク化を図り、魅力ある空間を形成していくことが必要です。

一方、市民にとって市街地の身近な水とみどりの空間は快適に生活できる住環境を形成していくものであるため、樹林地や農地の保全・活用を引き続き進めていくとともに、緑化等による新たなみどりを創出していく必要があります。

## 2. 基本方針・区分別主要事業

集約型都市構造の実現に向けた都市空間の更新や都市の多様性の確保などにより、都市の防災性や都市環境・生活環境の向上を図るとともに、都市の活力や魅力の強化と豊かな自然環境の保全・活用により、選ばれる都市を目指していきます。

### (1) 災害に強い都市環境の整備を効率的・効果的に推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
1	成	防災都市づくり計画推進事業 〔都市総務課、開発調整課〕	14,607 (7,607)	9,569 (9,569)	防災を明確に意識した都市づくりを推進するため、災害リスクを軽減するための具体施策、復興に関する行動指針等の検討を実施
2	拡 倍 成	(仮称) セントラルパーク整備事業 〔都市公園課〕	10,000 (10,000)	0 (0)	見沼田圃の自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐとともに、広域的な防災拠点の整備に向けて、関係機関及び市民協働会議関係者と協議を行い、次期整備区域の基本構想を改定
3		組合施行等土地区画整理支援事業 〔区画整理支援課〕	15,082,981 (1,892,351)	15,670,268 (1,606,510)	施行中の組合施行土地区画整理事業に対して補助金を交付し、災害に強い都市基盤整備を実施
4	成	浦和東部・岩槻南部地域整備推進事業 〔浦和東部まちづくり事務所〕	3,711,326 (136,372)	1,859,409 (140,105)	みそのウイングシティを副都心にふさわしい魅力ある市街地とするため、土地区画整理事業により基盤整備を行い、土地活用を促進させ人口定着を図り、まちづくりを推進
5	成	浦和東部第一特定土地区画整理事業 〔浦和東部まちづくり事務所〕	2,012,000 (1,608,931)	1,987,000 (1,571,646)	浦和東部第一地区内でのスマートホーム・コミュニティ立地等による、環境未来都市の推進をはじめ、土地利用促進に資する取組を実施
6		武蔵浦和駅周辺地区まちづくり推進事業 〔浦和西部まちづくり事務所〕	2,400 (400)	2,814 (814)	武蔵浦和駅周辺地区における、未整備地区を含めた地区全体のまちづくりの検討を行い、災害に強い都市基盤整備を推進
7		武蔵浦和駅第3街区市街地再開発事業 〔浦和西部まちづくり事務所〕	1,076,500 (88,220)	1,078,300 (100,629)	武蔵浦和駅第3街区市街地再開発事業の施行者である市街地再開発組合へ補助金を交付し、災害に強い都市基盤整備を実施

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業  
行…行財政改革推進プラン2013事業



(2) 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
8		都市計画道路見直し事業 〔都市計画課〕	18,200 (18,200)	19,200 (19,200)	道路網計画に基づき、廃止候補となった路線について、関係権利者の合意形成を図り、都市計画変更手続を実施
9	倍	交通バリアフリー推進事業 〔交通政策課〕	584,420 (272,647)	589,728 (147,755)	バリアフリー法に基づき、市内各駅の移動円滑化(バリアフリー化)を推進するため、南浦和駅・東宮原駅のエレベーター設置工事及び吉野原駅のエレベーター設置に向けた基本設計等を実施
10		バス対策事業 〔交通政策課〕	221,356 (221,106)	212,421 (212,171)	交通空白地区や交通不便地区等の交通利便向上を図るため、コミュニティバス等の運行補助や新規路線導入の検討を行うとともに、路線バスの利用促進に資する取組を実施
11	倍	身近な公園整備事業 〔都市公園課〕	824,482 (202,282)	1,319,892 (275,392)	都市公園の適正な配置・整備に向けて、身近な公園が不足する地域を重点に、歩いていける範囲に身近な公園整備を推進
12		指扇駅周辺まちづくり推進事業 〔日進・指扇周辺まちづくり事務所〕	332,549 (15,149)	1,118,035 (39,975)	指扇駅橋上化及び南北自由通路の整備を行い、あわせて駅施設のバリアフリー化も実施(平成24年度着手、平成26年度末完成予定)
13		岩槻駅舎改修事業 〔岩槻まちづくり事務所〕	2,334,216 (93,081)	1,579,455 (33,441)	岩槻駅橋上化及び東西自由通路の整備を行い、あわせて駅施設のバリアフリー化も実施(平成24年度着手、平成26年度末完成予定)

(3) 東日本の中枢都市にふさわしい魅力ある未来に誇れるまちづくりを推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
14		協働による都市づくり推進事業 〔都市総務課〕	4,245 (4,245)	4,200 (4,200)	まちづくり広報誌「korekara」の発行やホームページでの積極的な情報提供を通して、市民参加意識の醸成を図り、都市づくりの基本理念である「市民と行政の協働」を推進

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
15	成	L R Tの検討推進 〔交通政策課〕	17,000 (17,000)	2,415 (2,415)	平成12年に答申を受けた東西交通大宮ルートについて、目標年次が平成27年度となっていることから、費用便益分析等を行い、今後の方針を決定
16	新 成	広域交通拠点調査検討 〔交通政策課〕	7,000 (7,000)	0 (0)	東日本の交通の要衝である大宮駅について、鉄道事業者や県など関係者における研究会等を通じて駅機能の高度化に関する調査検討を実施
17	成	岩槻駅周辺地区まちづくり事業 〔まちづくり総務課〕	16,202 (0)	16,718 (0)	岩槻まちづくりマスタープランに掲げられたまちの将来像を実現するアクションプランを進行管理するとともに、検討委員会の意見を基に旧岩槻区役所の敷地利用計画を取りまとめ、魅力あるまちづくりを推進
18	成	与野本町駅周辺地区まちづくり事業 〔まちづくり総務課〕	8,506 (0)	7,326 (0)	まちづくりマスタープラン策定委員会を開催してマスタープラン素案の検討を行いながら、将来的なまちづくりを行うための計画策定を推進
19		さいたま新都心にぎわい創出事業 〔計画管理課〕	91,083 (69,253)	89,595 (80,255)	さいたま新都心地区内の都市施設の適正な維持管理に加え、地区内ボランティアの支援やまちづくり推進協議会の取組を行い、にぎわいや交流のあるまちづくりを推進
20	拡 成	さいたま新都心将来ビジョン推進事業 〔計画管理課、交通政策課、都市公園課〕	23,321 (23,321)	10,810 (10,810)	さいたま新都心将来ビジョンに掲げる目標実現に向けて、北袋1丁目地区における適正な土地利用転換の促進や、防災機能を持った都市公園及び交通広場等の整備を検討
21	成	浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業 〔浦和駅周辺まちづくり事務所〕	2,135,484 (149,706)	392,623 (38,395)	県都の玄関口にふさわしい街並みを実現するため浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業、浦和西口停車場線(県庁通り)の整備促進

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業  
行…行財政改革推進プラン2013事業

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
22	成	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業 〔大宮駅東口まちづくり事務所〕	340,000 (17,000)	187,800 (9,400)	市民サービス・商業・業務等の拠点形成に向け、市街地再開発組合が実施する施設建築物の実施設設計や権利変換計画の作成等に係る費用の一部を補助
23	成	氷川緑道西通線整備推進事業 〔大宮駅東口まちづくり事務所〕	630,900 (128,515)	2,181,470 (295,770)	交通機能の強化や快適な歩行者ネットワークの形成を推進するため、南区間の用地買収及び電線共同溝整備工事を実施するとともに、北区間の事業認可を取得
24	新 倍	(仮称)アーバンデザインセンター大宮の設置 〔大宮駅東口まちづくり事務所〕	9,000 (9,000)	0 (0)	大宮駅周辺地域戦略ビジョンで掲げた「民官協働の場」の推進のため、(仮称)アーバンデザインセンター大宮の設置に向け、センターの機能や運営方法、市の役割や支援方策等を検討
25		大宮駅西口整備推進事業 〔大宮駅西口まちづくり事務所〕	22,251 (13,145)	10,428 (1,006)	大宮駅西口の未整備地区については、狭隘道路や低層木造住宅の密集化等の課題があり、これらの課題を解決する実現可能な基盤整備の方針を検討
26	成	大宮駅西口第四土地区画整理事業 〔大宮駅西口まちづくり事務所〕	2,039,000 (1,118,596)	2,316,000 (921,113)	業務・商業機能の集積及び都心地区にふさわしい市街地形成を図るため、建物移転や区画道路整備等の面的基盤整備を行い、土地利用の転換を促進

## (4) さいたま市らしい豊かな自然環境の保全・活用・創出を推進します。

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
27		民有地における緑の創出事業 〔みどり推進課〕	7,183 (6,483)	6,794 (6,094)	身近な緑を増やすため、みどりの街並みづくり助成事業の推進、緑化指導基準に基づく協議、家庭における緑のカーテンの普及
28		自然環境を形成している緑地の保全・整備事業 〔みどり推進課〕	570,036 (202,036)	609,807 (159,007)	オープン型・クローズ型緑地の保全事業、緑地保全ボランティア活動の推進等により良好な自然環境を有する緑地の保全を推進

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業  
行…行財政改革推進プラン2013事業

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No	区分	事業名	26年度	25年度	説明
29	倍	見沼田圃基本計画推進事業 〔みどり推進課〕	23,358 (23,358)	33,010 (33,010)	散策環境の安全対策向上に向けた整備と、見沼田んぼの総合情報発信基地の整備に向けた運営実験を実施
30	拡倍	目指せ日本一!サクラサク見沼田んぼプロジェクト推進事業 〔みどり推進課〕	12,561 (12,561)	6,000 (6,000)	桜回廊の実現に向け、重点整備区間の測量と詳細設計を実施するとともに、800mに桜を植樹

### 3. 平成26年度予算案における見直し事業一覧

(単位:千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト削減額
都市計画課	都市計画審議会委員の減員	都市計画審議会の委員数を見直し、3名の減員を行ったことにより、予算額を縮小する	△ 120
自転車まちづくり推進課	放置自転車対策事業管理業務の見直し	自転車保管所における機械警備業務委託について、契約方法の見直しを行い、予算額を縮小する	△ 550
日進・指扇周辺まちづくり事務所	指扇駅周辺まちづくり推進事業(印刷製本費)の見直し	指扇駅北口開設協議会開催時における印刷物の必要枚数見直しを行ったことにより、予算額を縮小する	△ 116
区画整理支援課	組合区画整理事業推進事務所管理事業(光熱水費)の見直し	組合区画整理事業推進事務所管理事業のうち電気料と上下水道使用料を見直したことにより、予算額を縮小する	△ 309
計画管理課 氷川参道対策室	まちづくりパンフレット等の印刷部数削減	在庫状況を確認し、印刷部数を削減し、予算額を縮小する	△ 36
計画管理課	ふれあいプラザにおける配布物製本作業の見直し	配布物の作成をコピー機から印刷機に切り替えたことにより、予算額を縮小する	△ 205

〔区分〕 新…新規事業 拡…拡大事業 倍…しあわせ倍増プラン2013事業 成…成長戦略事業  
行…行財政改革推進プラン2013事業